

みなさまによって支えられている
みなみの、さまざまな地域福祉活動
をご紹介します。

発行 社会福祉法人
横浜市南区社会福祉協議会



みなみ 第87号



南区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
トモニ

企画・編集

発行日 令和4年6月2日

社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会 会長 大津 幸雄

〒232-0024 南区浦丹町3-46 浦丹複合福祉施設8階

☎045-260-2510 ☎045-251-3264
http://www.minami-shakyo.jp

令和3年度寄付金実績とその使いみち(報告)

募金の種類と募金実績 (令和4年3月1日現在)	使 い み ち	金 額 (千円)
日本赤十字社 活動資金(会費) 12,168,168 円	世界各国の貧困、飢餓で苦しんでいる人々、戦争犠牲者、自然災害の被災者への援助活動、国内の災害救護活動、献血事業などに	10,153
	南区内の地域防災事業等(防災訓練、防災設備)への助成金や災害意識啓発事業、見守り活動に	400
	各自治会町内会への募金還元金、事務費に	1,490
	南区内の火災被災者への見舞金に	125
更生保護活動寄付金 1,438,410 円	「社会を明るくする運動」事業等に	878
	南区内の更生保護活動及び犯罪予防活動を行う団体(保護司会、更生保護女性会等)への助成金に	260
	地域の対話集会等啓発費に	300
区社協賛助会費 3,671,150 円	南区地域福祉保健計画地区計画推進のための地区社協への助成金に	2,400
	民生委員分科会、施設分科会等、移動情報センター等の運営に	456
	区社協広報紙「社協みなみ」の発行経費等に	815
共同募金(赤い羽根募金) 13,704,553 円	南区内の福祉活動やボランティア活動に(地区社協活動費、高齢者食事サービス事業、ボランティア団体、障がい者団体、子育てグループ他)	10,088
年末たすけあい募金 4,716,878 円	南区内の社会福祉施設や福祉団体の活動費に	70
	県内の民間社会福祉施設や福祉団体の活動費に	8,263

南区社協で受け付けている募金・会費

募金の名称	目標額	募 集 団 体	依頼時期	募金は任意です ので、目標額はあくまでも「目安」としてとらえ、それぞれの趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。
日本赤十字社活動資金(会費)	一世帯 200円	日本赤十字社神奈川県支部 横浜市地区本部南区地区委員会	4月頃	
更生保護活動寄付金	一世帯 20円	南保護司会	4月頃	
区社協賛助会費	一世帯 50円	横浜市南区社会福祉協議会	4月頃	
共同募金(赤い羽根募金)	一世帯 265円	神奈川県共同募金南区支会	9月頃	
年末たすけあい募金	一世帯 75円			

皆さまの寄付が支えです

南区の社会福祉活動へのご支援を



中村地区社会福祉協議会
「南いきいき中村地区の集い」



永田みなみ台地区社会福祉協議会
「子育てサロン まんま」

南区社会福祉協議会(以下、「南区社協」)は、社会福祉活動を推進しています。その財源の一部は区民の皆様からの会費や寄付などで支えられています。「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をつくり出す」ために、区民の皆様からのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

南区社協は地域住民や社会福祉関係者などに参加・協力をいただきながら、福祉事業を実施する他、住民の皆様が自主的に行う福祉保健活動を支援しています。

例えば、令和3年度に賛助会費として集まった約360万円のうち、240万円は南区地域福祉保健計画の地区計画推進のために、各地区の社協の助成金として使われました。

令和4年度募金総額と使いみち(予定)

お寄せくださった寄付金は、各団体がそれぞれの目的に沿って有効に活用させていただきます。今年も皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

日赤会費

総額 1,493万1,400円

自治会町内会募金還元・事務費 11%

区内の防災事業等への助成
・災害意識啓発事業 3%

区内の火災や風水害の被災者への見舞金 2%

世界の貧困、飢餓、戦争犠牲者、自然災害の被災者への援助、国内の災害救護、献血事業等 84%

「社会を明るくする運動」事業 61%

地域の対話集会等啓発費 22%

更生保護活動寄付金

総額 149万円

保護司会や更生保護女性会等への助成金 17%

「社会を明るくする運動」事業 61%

地域の対話集会等啓発費 22%

区社協賛助会費

総額 373万円

民生委員分科会施設分科会移動情報センターの運営等 12%

区社協広報紙「社協みなみ」発行経費 24%

南区地域福祉保健計画地区計画推進のための助成金 64%

共同募金

総額 2,014万円

南区内の福祉活動やボランティア活動への配分金 13%

区内16地区社協の事業費 18%

県内の社会福祉施設や福祉団体の活動費 39%

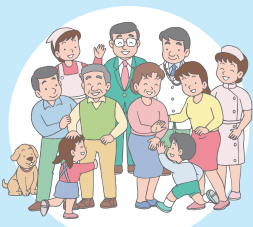
南区社協事業費(各種講座・広報啓発等) 26%

令和4年度 南区社会福祉協議会の事業計画をご紹介します

〈第4期南区地域福祉保健計画 重点目標に基づく区社協の主な取り組み内容〉

1 第4期地域福祉保健計画・地区別計画の推進を通じた地域づくり

地区別計画の策定において明らかになった地域の福祉ニーズや課題の解決に向け、地区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地域づくりを進めます。また食支援や居場所づくりなどを通じた「身近な地域のつながり・支えあい活動」を推進します。



2 持続可能な福祉活動・ボランティア等市民活動への支援

コロナ禍において、これまでの様々な福祉活動が地域ニーズに沿ったものか、その在り方や方法を見直し、持続可能で新たな活動モデルを提示します。また不足している担い手の発掘や育成に取り組む、住民をはじめ団体・企業など多様な主体による福祉活動やボランティア等市民活動を支援します。



3 災害に強い地域づくりの推進

大規模災害の発生時に地域の迅速な復興支援が行えるよう、災害ボランティアセンターの設置・運営に備えて区役所や災害ボランティアネットワーク・地域防災拠点と連携した取り組みを行います。自治会町内会や障がい当事者団体とも連携し、障がい理解の取り組みを行います。



4 事業推進に向けた法人基盤の強化

多様な主体による地域福祉の推進を踏まえ、本会事業の更なる選択と集中を進めます。また広域かつ深刻な感染症の蔓延や大規模な災害など非常事態発生時の事業継続に向けた体制を整備し法人基盤の強化を図ります。本会の会員施設・法人の公益的な取り組みを推進すると共に企業のCSR活動を支援します。

令和4年度予算(単位:千円)

事業別支出項目	予算額
法人運営	12,602
ボランティアセンター事業	210
地区社協支援事業	4,870
福祉保健活動拠点運営	18,730
共同募金配分事業	8,446
善意銀行配分事業	1,020
送迎サービス事業	2,834
移動情報センター事業	9,883
権利擁護事業	940
地域福祉推進事業	332
ふれあい助成金配分事業	8,338
福祉基金運営	7,000
支出合計	75,250
内部取引消去	△7,000
拠点合計	68,205

～寄付のまどぐち～ 善意銀行

「社会のために少しでも役立つことをしたい」地域の皆さまからのあたたかい善意の気持ちで寄せられた金銭や物品をお預かりし、区内福祉団体・施設等、地域福祉を推進する団体へ有効に活用いただく「善意の架け橋」となる活動です。



善意銀行寄付者一覧 ※敬称略、順不同

(令和4年1月1日～3月31日)

- ・手芸ボランティアすずらん ・中一和幸会 ・横浜植木株式会社
- ・星空みゆき かまとたんじろう びっくぼすしんじょうつよし
- ・大串 多美 ・斉藤 英夫 ・大山祇命神社教会
- ・私立結ヶ丘女子高等学校 生徒会長 葉月恋